

子育て支援情報紙

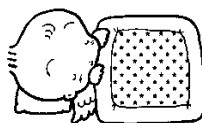
えんぜる

第296号

令和5年 1月 1日

足寄町教育委員会

TEL 0156-25-3188



足寄町教育委員会ホームページ [【www.town.ashoro.hokkaido.jp】](http://www.town.ashoro.hokkaido.jp)

1月

子育て支援カレンダー

紙 面

・二面：保護者の目線で情報『新年のご挨拶』
・三面：子育てエッセイ・休憩室・英語で子育て
・四面：お勧めの本『十二支のお節料理』『ちびくろ・さんぽ』・編集後記

日	月	火	水	木	金	土
つどいの広場 ⇒ 子どもセンターで、毎週：月・火・木・金 9:30~11:30 事前予約不要、詳細は TEL25-4415まで 児童館 ⇒ 毎（水） 10:00~11:50 ※詳細は 子どもセンターTEL25-2574まで ※1/11（水）お休み ひよこクラブ ⇒ 詳細は TEL25-4415まで						
1 元旦	2	3	4	5 	6 えんぜる編集会議 11:00~ 町民センター	7
8 足寄町 「はたちのつどい」	9 成人の日	10 	11 書初め大会 町民センター 多目的ホール	12 	13 	14
15	16 乳幼児相談 (フリー) 13:00~14:30	17 「すくすく」 10:10~11:50 町民センター	18	19 	20 	21 絵本の会はらっぱ 11:00~10:30 対象：小学生以下
22	23 	24 リサイクルの日 10:00~11:15 町民センター	25 ひよこクラブ	26 	27 	28
29	30	31 				

☆ 子育て支援・学習と交流の会「すくすく」のご案内

第9回 1月17日（火）の「すくすく」は、『動きある軽い運動』を町民センターで行います。

講師は、健康運動指導士 小林永枝さんです。運動靴やタオル、飲み物は必需品です。

会員以外で参加を希望される方は、足寄町教育委員会生涯学習担当の加藤又は青木まで、

お電話でお申し込みください。 *TEL：25-3188 ※当日は、託児も行います。



新年のご挨拶を申し上げます



足寄町教育委員会

教育長 東海林弘哉

『年頭に当たってのご挨拶』

令和五年になりました。改めまして新年明けましておめでとうございます。

日頃より足寄町教育委員会の各種事業にご理解とご協力をいただいておりますことに、心より感謝とお礼を申し上げます。

さて、昨年は「コロナ感染」や「世界的な不安定情勢」等、世界中の人々が『命の尊さ』について学んでいた年ではなかったかと思えます。令和五年は、コロナ禍が収まるとともに、地球全体が『平和の光が灯る』年になってくれることを切に願っております。

そんな中、教育委員会では「安心・安全」で健やかな子育てができるように、様々な事業を万全な体制を取りながら行っております。特に、子育て関係では、子育て支援・学習と交流の会『すくすく』の事業を主軸に、子どもの健やかな成長とお母さん方の心の和みをお願い、お母さん方が中心となって活動しております。また、子育て支援「リサイクルの日」や情報紙「えんぜる」の活動については、子育て中のお母さん方のボランティアスタッフに支えられながら、子育ての不安を少しでも解消してもらえよう、日々努力していく所存でもあります。

今年もこれからの諸事業を工夫し、改善してまいりたいと考えておりますので、今後とも皆様方のご支援・ご協力をお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

足寄町認定こども園どんぐり

園長 富澤亜希子

『新年のご挨拶』

明けましておめでとうございます。

日頃より認定こども園どんぐりの運営に保護者の皆様はじめ多くの関係機関の皆様にご理解とご協力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

コロナ禍により、こども園での生活も様々な変化がありました。運動会・発表会などの行事は三年ぶりにこども園で開催することができました。園内への立ち入りも制限している中で、保護者の皆様に普段の子どもの園での雰囲気を知っていただく良い機会になったことと思います。子どもたちもご家族が親に来てくれたことが一番のエネルギーになったように、とてもイキイキと自信に満ちた楽しそうな表情でした。保護者の皆様からも温かいメッセージをいただき、改めて人との関係性の意味を考えさせられました。

保育には、人は人との関わりの中で成長し、発達を促していくという考えがあります。乳幼児期は特に、社会性を育みながら生きる力の基礎を培う、大切な時期だと思えます。お友達と遊び、保育士に甘え密接な人間関係の中で多くを学び、様々な体験をすることで他者への理解やコミュニケーションの素地も養われます。これからの時代を担う子どもたちが心身ともに健康で素晴らしい未来を創る、そんな質の高い保育を提供できるよう職員一同日々努めてまいりたいと思えます。

本年も保護者をはじめ、地域の皆様や関係者のご支援・ご協力をいただきながら子どもたちの笑顔と声が響く元気いっぱい園になるよう祈念して、年頭のご挨拶といたします。

「えんぜる」編集局

代表 安原紗奈恵

『新年のご挨拶』

新年明けましておめでとうございます。

「えんぜる」も今月号で296号となり、もう少して300号に入ります。平成十年創刊当時の先輩編集委員の方々の意思を受けつぎ、足寄町で子育てに奮闘しているお父さん、お母さんのお役に少しでも立てればという思いで原稿を書いています。

昨年は、コロナウイルスが落ち着かない中、ロシア、ウクライナの戦争により、私達の生活にも大きく関わってくるという大変な事態となりました。遠い国のことのように思えていましたが、こんなに身近なことにつながっていることを改めて知りました。早くコロナウイルスもロシア、ウクライナの戦争も落ち着いてほしいと願います。

えんぜる編集委員も人数が増え、毎月の会議ではたくさんアイデア、意見交換も活発にできて、楽しくやっています。今年も町内イベント紹介や体験記などたくさんお寄せいただきたいと思っていますので、編集委員一同よろしく願います。また、編集委員と一緒にやってみたいなど思いましたら、会議の様子を見学に来て下さい。お待ちしております。

ご挨拶遅れましたが、昨年の四月よりえんぜる編集委員代表を務めさせていただいていますが、安原です。三人の子どものお母さんをしていきます。よろしく願います。

子育てエッセイ

『心が和むこどもの言葉』

こどもの表現する言葉は、大人になると思い浮かばないことが聞けるので面白いですね。余裕があればメモをしましたが、ほとんどが日常に紛れて忘れてしまいました。育児中のみなさんはいかがですか？

先日、メモを残したいと思ったことが一つありました。息子が風邪を引き熱が続いたので久々にお風呂に入った時のこと。私が「体がすつきりしたねー！」と声をかけると、息子は『心もピカピカになったよ！』と満面の笑みで話してくれました。

息子の心身共に晴れ晴れとしたスツキリ感が伝わってきて、心が和んだ時間でした。こんな些細な、エピソードはこどもの日常にたくさんあるなあと感じています。

みなさんのお子さんの心が和んだエピソードも編集委員にぜひ教えてください。2023年は心和む時間からスタートさせてみませんか？



休憩室

『あまったお餅で簡単もちピザ!』

【材 料】（2人分）

切り餅	2 個
ピーマン	1 個
ウインナーソーセージ	1 本
ピザ用チーズ	20g
オリーブオイル	適量
ケチャップ	適量

【作り方】

- ①切り餅は厚さを半分に切る。ウインナーソーセージ、ピーマンは輪切りにする。
- ②アルミホイルを広げてオリーブオイルを薄く塗り、切り餅を並べる。ケチャップをぬり、ウインナーソーセージ、ピーマン、ピザ用チーズをのせる。
- ③オーブントースターに入れ、切り餅が柔らかくなるまで5～6分程焼く。皿に盛り、好みでオリーブオイルをかける。

※ ソースや具材を変えて、お好みのピザを作って楽しみましょう♡

英語で子育て

新年あけましておめでとうございます。

2023年の干支は「卯」ですね 🐰。

さて皆さん、ウサギのことは英語で何と言いますか？

そう、ピーター・ラビット^{ラビット}でお馴染みの【rabbit】ですよ。

私も、NZ（ニュージーランド）にいたときに、野生のウサギを見かけて

自信满满で「rabbit!」^{ラビット}と言うと、NZ（ニュージーランド）人に「あれは、hare^{ヘア}だよ。」と、直されました。

どうやら、飼いうさぎのように比較的小さくて、地面に穴を掘って巣を作るウサギを【rabbit】^{ラビット}、比較的大きくて、地面の上に巣を作るウサギは【hare】^{ヘア}と呼ぶそうです。

イソップ寓話の「うさぎとかめ」の英語タイトルも 'The Tortoise and the Hare' だそうです



私の見つけたお勧めの『本』

『十二支のお節料理』

作：川端 誠 出版社：BL出版

この本は、まず目に止まるのが、丁寧に仕上げられた年の始めを祝うにふさわしい晴れやかさ！よく見ると版画！動物達も可愛い！描写も細かい！

とても日本的なタッチな絵がお気に入りです(笑)

十二支の由来については、私も知らなかった事だらけ(笑)

子どもが小さかった頃の本だったので、おせち料理や十二支について教えるのにもとても役立ちました。

私の子ども達は、この絵本で干支を覚え、家族みんなの干支も覚えてくれました。毎年のお正月に読みたい1冊です。



『ちびくろ・さんぼ』

文：ヘレン・バンナーマン 絵：フランク・ドピアス 訳：光吉 夏弥 出版社：怪書房

初版 1899 年のロングセラー絵本です。虎がぐるぐる回っているうちに溶けてバターになるなんて、これぞ絵本！自由な発想が楽しい、想像力が広がる絵本です。幼い私は、本気でこの絵本に出てくる虎のバターのホットケーキが食べたくて食べたくて、夢に見たほどでした。

今は、懐かしく子供に読み聞かせしています。皆さんも、お子さんと一緒に想像力を膨らませながら読んでみてはいかがでしょうか。



編集後記

新年明けましておめでとございます。

年末、長男が農協さんに年男記念の写真を撮ってもらった機会がありました。ところがなんと！僻地小の高学年(5・6年生6人)全員が卯年生まれで、教室に全員揃ったの撮影となりました。なるほど、穏やかで優しく、友達思いのクラスメイト達。みんな卯年だったのね、うちの長男も寂しがり屋の「かまって君」だもんね。生まれて来てくれてから、もう十二年も経つなんて信じられないと思います。

そこで今年の干支・卯年について気になったので調べてみました。うさぎは穏やかで温厚な性質から、「家内安全」、躍進する姿から「飛躍」「向上」という願いが込められています。何かを始めるのにも良い年であるようです。安産・多産で知られているため「子宝」の象徴でもあります。

では卯年に生まれた人は多いのかな？と更に調べてみると、総務省統計局に面白いデータが。意外にも十二支の中で卯年の人口は十位でした。一位は丑(うし)年、十二位は午(うま)年だそうです。何か理由があるのかな。またまた気になっちゃいますね。

卯年の一年が皆さんにとって素敵な一年になりますように。

(編集委員 Y・M)